

市村清ゆかりの地探訪



チビ清

佐賀県の貧農の家に生まれながら、数々の困難を乗り越えて、リコー三愛グループの礎を築いた創業者・市村清。その原動力となったのは卓抜たるアイデアとたゆまぬ実行力、そして故郷を愛する心でした。ゆかりの地を訪ね、その足跡に触れて、「人を愛し 国を愛し 勤めを愛す」の精神に徹して走り続けた市村の生きざまを感じてみてはいかがでしょうか。



■所在地
東京都中央区銀座
5-7-2

今なお銀座4丁目のランドマーク 三愛ドリームセンター

「日本一のこの地に、世界一珍しい建物を建設して観光日本の一助に資したい」という市村の思いは、旅先で見た奈良・法隆寺の五重の塔がヒントとなって実現しました。

1963年1月13日午前0時の開館披露宴。ドラムロールが響く中、総ガラス張りの円筒形ビルの1階から上へと順に明かりがともって行き、最後に広告のネオンが点灯して全館が金色に。

オープンから半世紀を超え、今なお銀座4丁目のランドマークです。



■所在地
東京都大田区
羽田空港 3-7-1
TEL 03-5757-0321

ハイドラント給油システムを考案

三愛石油 羽田支社

羽田空港の滑走路の地下に航空燃料を供給するためのパイプラインを敷き、航空機に給油することができるハイドラントシステムの考案は市村によるものです。以来、ハイドラント施設は国内外の主要空港に採用されています。

三愛石油はハイドラントシステムのノウハウを活かし、航空燃料取扱事業においてオペニオンリーダーの役割を果たしています。

HP <http://www.san-ai-oil.co.jp/>



■所在地
東京都大田区北馬込
1-26-10
TEL 03-3775-2021

大田区北馬込の高台に立つ白亜の洋館

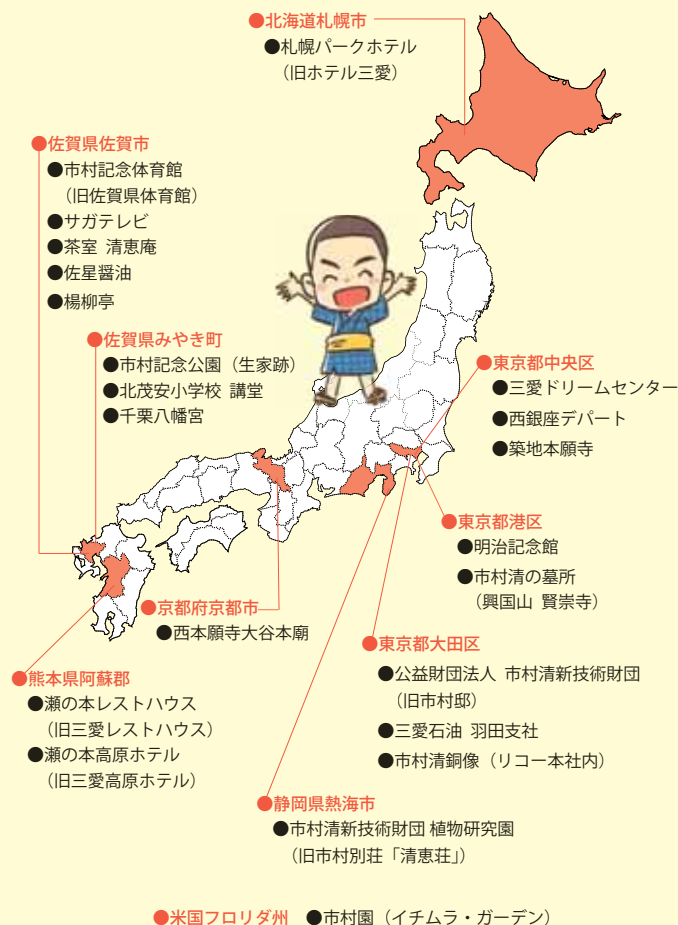
公益財団法人 市村清新技術財団（旧市村邸）

1937年、37歳の市村は北馬込に居を構えました。眼下に見える細い道に面して旭光学（リコーの前身）の工場がありました。やがて、細い道は環状7号線に、工場は現在のリコーの基盤となりました。

54年に新築された自宅は、市村が好んだ柔らかな曲線が出窓やらせん階段をはじめ、そこそこに生かされた設計となっています。

現在は、財団に寄贈され、財団本部となっています。

HP <http://www.sgkz.or.jp/>





■所在地
東京都大田区中馬込
1-3-6
TEL 03-3777-8111

社員たちの募金で建立された 市村清銅像（リコー本社玄関前）

1969年12月16日（市村清の一周忌）、リコー本社玄関前で、市村の銅像除幕式が行われ、生前親交のあった政財界、学界、芸能界の方々、近親者、グループ各社代表約100名が出席しました。

台座正面の「市村清像」は市村が最も敬愛した石坂泰三氏の揮毫によるもの。建立募金に応募した約14,600名の名簿は台座の中心部に埋蔵され、保存されています。

HP <https://www.ricoh.co.jp/>



■所在地
東京都中央区銀座
4-1
TEL 03-3566-4111

ショッピングセンターの草分け 西銀座デパート

戦後、西銀座の名所であった数寄屋橋の堀は高速道路のために埋め立てられ、道路下は事務所や商店街になりました。商店街の真ん中にオープンした西銀座デパート（市村が初代社長）は、有楽町の新名所として、おしゃれな女性たちににぎわいました。

現在、女性ファッション、三愛水着楽園、レストランなど多彩な店舗が揃い、当選数日本一といわれる宝くじ売り場もあります。

HP <https://www.nishiginza.co.jp/>



■所在地
東京都港区元麻布
1-2-12
TEL 03-3451-2359

佐賀鍋島藩歴代藩主の菩提寺 市村清の墓所（興国山 賢崇寺）

1968年12月16日、市村清は68歳の生涯を終えました。今、両親や幸恵夫人とともにここに眠っています。三愛会では毎年命日などに墓参を行っています。

賢崇寺は佐賀藩士をはじめ佐賀ゆかりの人々の墓が多くあります。市村がここを選んだのも、佐賀出身であり、祖父が佐賀藩士だったことによるものです。



■所在地
東京都港区元赤坂
2-2-23
TEL 03-3403-1171

戦後まもなく手掛けた明治神宮の結婚式場 明治記念館

1947年、明治神宮の再建に力を貸してほしいと依頼された市村は、厳粛な形式を残す憲法記念館の建物を見ているうちに、結婚式場のアイデアがひらめきました。狙いは大成功で、その年の挙式数は295組を数え、翌年開設した結婚相談所には多くの若い男女が訪れました。

その後、市村は経営から退きましたが、同館はさらに発展を続けて施設も拡大。開館から70余年、総挙式数は21万組を超えました。

HP <https://www.meijikinenkan.gr.jp/>



■所在地
東京都中央区築地
3-15-1
TEL 03-3541-1131

合同葬儀が執り行われた寺院 築地本願寺

1968年12月20日、市村のグループ合同葬儀が執り行われた浄土真宗本願寺派の寺院。葬儀には、政財界をはじめ文化・スポーツ、芸能関係者など生前交流のあった方たち、約7,000名が参列。広い境内に入りきれなかった参列者の列が歩道にまで続いていました。

当寺院は日本を代表する寺院の一つで、インドの古代仏教建築を模した本堂は国の重要文化財に指定されています。

HP <https://tsukijihongwanji.jp/>



■所在地
静岡県熱海市
相原町11-8
TEL 0557-81-2656

36歳のときにつくった熱海の別荘（清恵荘） 市村清新技術財団 植物研究園（旧市村別荘）

理化学興業の感光紙部長に就任したとき、市村の手元には代理店（吉村商会）を返上した大金がありました。預金して楽に生きていこうとすれば人生が怠惰になってしまう、と考えた市村は約12,000m²の土地を買って別荘を建てたのです。（夫婦の名前から「清恵荘」と命名）

幸恵夫人の死後、財団に遺贈され、植物研究のための施設として開園しました。

HP <http://www.sgkz.or.jp/outline/brg/>





■所在地
佐賀県佐賀市内
2-1-35
TEL 0952-22-8024

郷土の青少年スポーツ振興のために 市村記念体育館（旧佐賀県体育館）

1963年、故郷佐賀県の青少年スポーツ振興のためにと、市村が私財を投じて寄贈した体育館。落成式に出席した市村は、館内を圧する拍手と歓声に迎えられて、「故郷に残し得る一番大きなものになったかもしれぬ」と目頭が熱くなるのでした。設計は、坂倉準三氏。

体育館としての役割を終え、2019年に改修が決定。今後は、次世代を担う人材育成や文化・芸術の発信拠点として生まれ変わります。

HP <http://www.seika-spc.co.jp/saga-undo/>



■所在地
北海道札幌市中央区
南10条西3丁目1-1
TEL 011-511-3131

冬季オリンピックに向けて建設された国際級ホテル 札幌パークホテル（旧ホテル三愛）

札幌冬季オリンピック開催が決まり、札幌にホテルを造ってほしいという要請を受けて、1964年に創設した国際級の豪華ホテル。リコーの不振などにより2年足らずで手放しましたが、三愛精神は創業の精神として、しっかりと受け継がれてきました。

現在は、アクセスの良さ、温かなサービス、自然豊かなロケーションが高い評価を受け、札幌有数のシティホテルとなっています。

HP <http://www.park1964.com/>



■所在地
佐賀県三養基郡
みやき町白壁 2403
TEL 0942-89-5566

恩師が宮司を務めた郷里の神社 肥後国一の宮 千栗八幡宮

神亀元（724）年創建の神社。佐賀中学を中退した市村が通っていた塾の塾長・岡泰雄が晩年宮司を務めました。

1940年、市村の多額の匿名寄進や地元有志の寄進により社殿が改造され、佐賀県唯一の格式の高い神社（国幣小社）へ昇格しました。

毎年3月15日に「お粥だめし」、8月1日に「名越祭」、9月15日に秋の大祭「放生会」・「行列浮立」が行われます。

HP <http://www.miyakikankou.jp/main/53.html>



■所在地
佐賀県三養基郡
みやき町白壁
（市原）

佐賀県の生家跡地を公園として寄贈 市村記念公園（生家跡）

佐賀県の東端に位置する三養基郡みやき町（旧北茂安村）、ここが市村清の生誕地です。明治維新まで旧鍋島藩の領地で、市村の祖父は佐賀鍋島藩士、父も武士の末裔でした。市村自身、佐賀の士族の資質を受け継いでおり、それが人生の大きな力となったと感じていました。

2001年、市村清生誕100年を記念して、生家のあった場所を市村記念公園として町に寄贈。市村の胸像も建てられました。現在は地元の人たちが管理しています。



■所在地
佐賀県佐賀市松原
3-2-37
TEL 0952-23-2138

郷土の老舗料亭 楊柳亭

明治15（1882）年創業の老舗料亭。市村が最初に訪ねたのは保険の勧誘のためでしたが、そのときは当主に話も聞いてもらえなかったそうです。そのふがいなさを猛省し、奮闘した結果、営業成績トップを収めるまでに成長したのです。その後、事業家として成功した市村は、佐賀へ帰郷した折には必ず立ち寄り、馴染みとなりました。

創業から百有余年、調度品などからも歴史の趣が感じられます。

HP <https://yoryutei.com/>



市村が寄贈した講堂
（1958年当時）



市村の胸像

■所在地
佐賀県三養基郡
みやき町大字東尾
420
TEL 0942-89-2123

故郷に恩返しをしたいと母校に寄贈 佐賀県みやき町立北茂安小学校 講堂

市村は故郷を愛していました。苦難の思い出に満ちた地でしたが、人生の出发点でもあったからです。この講堂は故郷への恩返しの気持ちから、1958年寄贈されました。それから30年余りが過ぎ、建物の老朽化が進んだため、91年に建て替え。新講堂には、市村清コーナーが設けられ、市村の業績を児童たちに伝えています。

現在、児童数は約500名、元気いっぱい学んでいます。

HP <http://cms.saga-ed.jp/hp/kitashigeyasu-e>



■所在地
京都府京都市東山区
五条橋東6丁目514
TEL 075-531-4171

市村夫妻の分骨を納めた親鸞聖人の廟所 西本願寺大谷本廟

1969年春、幸恵夫人は市村の分骨を京都の浄土真宗本願寺派（西本願寺）大谷本廟に納めました（後に、幸恵夫人の分骨も納められた）。

大谷本廟は浄土真宗の宗祖である親鸞聖人の廟所で、大谷墓地や無量寿堂（納骨所）には、全国の門信徒の遺骨が納められています。

三愛会近畿支部では、毎年4月に法要を営み、創業者の遺徳を偲びつつ、親睦を深めています。

HP <http://otani-hombyo.hongwanji.or.jp/>



■所在地
佐賀県佐賀市城内
1-6-10
TEL 0952-23-9111

佐賀県唯一の民間放送局 サガテレビ

佐賀県に民間放送局を開局するために、市村は地元の有志とともに奮闘し、1967年、佐賀放送を設立しました。翌年3月に会社登記をし、初代会長に市村が就任しました。同年5月に、サガテレビと社名変更。69年4月、本放送を開始し、2019年、開局50周年を迎えました。

現在、フジテレビネットワークの一局として佐賀県を中心にホットな情報を配信しています。

HP <https://www.sagatv.co.jp/>



■所在地
瀬の本レストハウス
熊本県阿蘇郡南小国町
大字満願寺
5621-7
TEL 0967-44-0011

瀬の本高原ホテル
熊本県阿蘇郡南小国町
大字満願寺 5644
TEL 0967-44-0121

雄大な阿蘇五岳や九重連山を一望する 瀬の本レストハウス・瀬の本高原ホテル （旧三愛レストハウス）（旧三愛高原ホテル）

1963年、やまなみハイウェイ（九州横断道路）の建設が決まり、当時の南小国村村長から土地開発の依頼を受けた市村は、65年、瀬の本高原の三愛レストハウスを完成。さらに、83年には三愛高原ホテルを開業しました。（両施設とも、2019年10月に社名変更）

HP <https://rest.senomoto.com/>（瀬の本レストハウス）

HP <https://hpdsp.jp/senomoto/>（瀬の本高原ホテル）



■所在地
佐賀県佐賀市城内
1-15-23
（佐賀県立博物館敷地内）
TEL 0952-24-3947

旧佐嘉城南堀に面した閑静な茶室 茶室 清恵庵

市村の遺志により、幸恵夫人が1973年に佐賀県に寄贈した茶室。佐賀県の施設として茶会や茶道の研修会などに利用されています。

敷地面積は230平方メートル、建築面積70平方メートル、建物は四畳半の茶室（小間）と七畳半の広間兼水屋、寄付、台所、トイレで構成されています。設計は茶室建築の第一人者である堀口捨己氏によるもので、貴重な建築資産となっています。

HP <https://saga-museum.jp/museum/facility/teahouse.html>



■所在地
1101 MacArthur
Causeway, Watson
Island,
Miami, FL 33139
TEL +1 305-992-0703

米国マイアミ市に寄贈した日本庭園 市村園（イチムラ・ガーデン）

1957年、米国のカメラショーに出席した市村は、帰途立ち寄ったマイアミ市に日本の桜の寄贈を申し出ました（翌年、オーキッドに変更）。さらに日本庭園を造らせ、日米親善の一役を果たしたのです。

しかし、度重なるハリケーンなどにより甚大な被害を受け、その後、修復工事を経て、現在はマイアミ市営庭園「市村園」として公開。季節ごとのイベントなども開催されています。

HP <http://friendsofjapanesegarden.com/>



■所在地
佐賀県佐賀市唐人
1-1-16
TEL 0952-23-6424

理研感光紙九州総代理店を兼業していた 佐星醤油

創業明治30（1897）年の老舗醤油醸造元。初代・吉村吉郎氏は醤油醸造のほかに富国徴兵保険の代理店（吉村商会）と理研感光紙の九州総代理店を兼業。ここが市村と理研の最初の出合いの場でした。

その後、理研感光紙の九州総代理店の権利を譲り受けた市村は、その販売で力を発揮し、理研の大河内博士から認められることになります。リコーの原点はここからです。

HP <http://www.saboshi.co.jp/>

